

11月12日～25日

パープルリボンキャンペーン

パープルリボンとは、女性に対するあらゆる暴力の根絶を訴える運動のシンボルマークであり、より多くの人がDVや虐待などに関心を持つようになることや、暴力の被害にあっている人に勇気を与えようという願いが込められています。紫色のリボンを身につけたり飾ったりすることで、「暴力のない世界にしたい」という意思表示ができます。1994年にアメリカで始まった草の根運動が世界中に広がり、現在では40カ国以上のネットワークに発展しています。

鹿児島市では、「女性に対する暴力をなくす運動期間(11月12日～25日)」に合わせ、講演会の開催やパープルリボンツリーの設置などさまざまなキャンペーンを実施しました。



▲サンエールかごしまや市役所本庁・各支所など計9カ所にパープルリボンツリーを設置



▲サンエールかごしま図書情報コーナーでの企画展示



▲かごしま水族館のパープルライトアップ



▲アミュビジョンでのデートDV防止のCM動画放映



▲周知のためのリーフレットやポケットティッシュなど

11月18日

セーフコミュニティ国際認証審査 (DV防止分野)

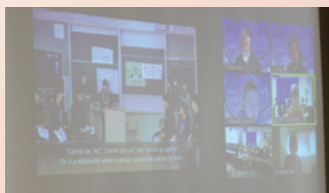
世界基準の安心安全都市を目指して取組を進めているセーフコミュニティ。鹿児島市では、令和2年度の再認証取得に向け、海外の審査員に対して分野ごとに課題や取組状況、成果などを発表するオンライン審査が行われました。DV防止分野では、DV防止のための情報提供及び啓発や相談員の資質向上、若者による若者のための暴力未然防止活動などの取組を具体的に発表。今後も「DVの正しい理解のさらなる促進」と「相談先の積極的な周知」、「より相談しやすい体制づくり」に取り組む方針を説明しました。審査員からは、さまざまな取組に対し随時検証と改善を続けていることは、他にはない心強い姿勢であると評価をいただきました。



▲DV防止対策委員会委員長の下敷領須美子さんによる活動報告を行いました

再認証取得!

▶取組の1つとして、大学生によるデートDV講座の様子を動画で紹介



11月22日

女性に対する暴力に関する講演会 「DVと子ども虐待～日常に潜むマルトリートメント(不適切な養育)が脳におよぼす影響とは?～」



◀チャットによる質疑応答も活発に行われました



▶会場に加え、オンライン聴講者も多数参加されました

パープルリボンキャンペーンの一環として、福井大学子どものこころの発達研究センター教授の友田明美先生による講演をオンラインで開催しました。

全国の児童相談所における令和元年度の虐待対応件数は過去最高であり、多くの児童虐待の背後にはDVが存在するといわれています。友田先生は、マルトリートメントはどの家庭でも起こりえる「大人から子どもへの避けたいかわり」のことで、子どもの脳に大きなストレスを与え、健全な脳の発達を妨げてしまうこと、そして現代社会には、育児困難に悩む親たちを社会で支える「とも育て」が必要であることを話されました。

10月9日

イクボス×女性活躍推進セミナー

本年度はイクボス推進会議と女性活躍推進のための経営者・管理職意識改革プログラムを同時開催。第1部の一般社団法人営業部女子課の会代表理事の太田彩子さんによる基調講演では、コロナ禍におけるオンラインを含む働き方の転換はチャンスであること、そしてイクボスは女性の自信を高めるための支援を行うことが重要であると話されました。

第2部は先進取組事例の紹介&パネルディスカッション。スリー・オールシステム株式会社は、社員それぞれの働き方を反映した時短制度やテレワークの柔軟な活用について、株式会社グローバル・クリーンは、意欲ある人材の積極的な正社員登用や教育訓練等の人材開発制度について話されました。どちらも実践的な内容で、参加企業は多くの学びとアイデアを得ることができました。



◀演題「多様な人材のやる気をも高める職場の作り方」について、ご講演いただいた太田さん

▼盛んに意見が飛び交ったパネルディスカッション



11月8日

働く女性のためのトークCafe

▶マスクをしながらも豊かな表情。トークが弾みました



◀中村さんの掛け声で、会場は一体となりました

令和2年度で4回目の開催となる働く女性のためのトークカフェ。このイベントは、仕事や家庭における悩みやモヤモヤした気持ちなどを率直に語り合い、共有することで、自らの人生を主体的に生きるためのヒントを得ることができる場として毎年好評です。

今年は先輩女性として7名のロールモデルを招き、グループ毎にコロナ禍における働き方や体験談などを語り合いました。最後に参加者は、「5年後、10年後を見据えて前向きに動いていきたい」、「コロナ禍で人との繋がりが薄くなっている中、久しぶりに笑って話げできた」などと感想を発表。鹿児島市女性活躍アドバイザーの中村啓子さんの激励も受け、例年以上の盛り上がりを見せました。

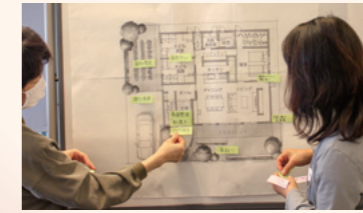
10月18日

鹿児島市男女共同参画フォーラム Withコロナ時代の「名もなき家事」～男女共同参画の視点から検証する～



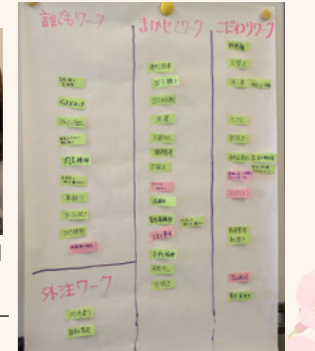
▲ご自身の体験も交えながら、これからは今まで当たり前になっていた家事を見直す機会であることを教えてくださった原田先生

令和2年度の男女共同参画フォーラムは、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から縮小版で開催。講師に鹿児島大学法文学部教授かつ弁護士である原田いづみ先生をお迎えしました。Withコロナ時代によるステイホームで増えた「名もなき家事」。家事を「家事マネジメント」として捉え、家族で分担するためのヒントを見つけることで、家庭から男女共同参画を進めることの大切さを学ぶことができました。



▲グループワークでは家の平面図を用い、思いつく家事を挙げていきました

▶グループワークすることで家事をマネジメント、分担を見える化しました



11月14日

女性のためのキャリアアップ支援セミナー

女性管理職やキャリアアップを目指す女性のためのセミナー。第1部では株式会社新日本科学上席執行役員の長利京美さんによる講演「女性が輝く企業とは?～私たちができること～」を開催。社内外で女性活躍推進に取り組み、自らもワーキングマザーとして活躍する長利さんのお話に、参加者は皆、深く傾きながら聴き入っていました。

第2部は参加者同士でキャリア形成についての課題や悩みを共有。管理職のロールモデルが少ない中、働くモチベーションを高め、自分らしいリーダーシップを探るためのグループワークを行いました。参加者の中には、「本セミナーは自分にはハードルが高かったと思っていたが、勇気を出して参加して良かった」と感想を話す方もいらっしゃいました。



◀社内での取組や仕事と子育ての両立についてなど、ご自身の体験談を交えつつ、参加者に心強いエールを送ってくださった長利さん



▶より多くの参加者が交流できるワールドカフェ方式によるグループワーク